

こんにちは とみさと議会です

平成 26 年
9 月定例会 第 184 号

発行 / 富里市議会
発行責任者 / 富里市議会 議長
編集 / とみさと議会報編集特別委員会
発行日 / 平成 26 年 11 月 1 日
住所 / 〒 286-0292 富里市七栄 652-1
TEL 0476-93-6492 FAX 0476-91-3595



市内幼稚園・小学校の運動会の様子

子ども・子育て支援新制度関連条例 三件を含む二〇議案を可決

9 月定例会は、9 月 1 日から 30 日までの三〇日間の会期で開かれました。市長から、子ども・子育て支援法及び関係法令の施行に伴う各事業の設備・運営に関する基準を定める条例をはじめ、議案一四件、同意一件、承認一件、平成 25 年度各会計歳入歳出決算の認定が提出され、それぞれ可決、同意等しました。また、委員会提出議案が三件提出され、それぞれ可決しました。

一般質問は、一〇人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。また、臨時会が 7 月 8 日に開催され、市長から議案二件が提出され、それぞれ原案どおり可決しました。

議会の動き

<ul style="list-style-type: none"> 7 月臨時会（会期一日） 7 月 8 日 ○ 議案第一号及び第二号 説明・質疑・討論・採決 ○ 議会改革特別委員会の調査報告について 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月定例会（会期三〇日） 9 月 1 日 ○ 開会 ○ 承認第一号及び同意第一号 説明・質疑・討論・採決 ○ 議案第一号から第一三号まで及び認定第一号 説明 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 4 日 ○ 一般質問（三人） ○ 認定第一号 質疑・決算審査特別委員会設置・同委員会付託 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 5 日 ○ 一般質問（五人） 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 8 日 ○ 一般質問（二人） ○ 議案第一号から第一三号まで 質疑・委員会付託 ○ 請願の件 委員会付託 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 11 日 ◇ 文教厚生常任委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 12 日 ◇ 総務建設常任委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 16 日～19 日 ◇ 決算審査特別委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 30 日 ○ 議案第一号から第一三号まで 委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 認定第一号 委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 請願の件 委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 委員会提出議案第一号から第三号まで 説明・質疑・討論・採決 ○ 議案第一四号 説明・質疑・委員会付託 ◇ 総務建設常任委員会 ○ 議案第一四号 委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 議員派遣の件 ○ 閉会
---	---	--	---	---	---	---	--	--

7 月臨時会の議案と議決結果

総務=総務建設常任委員会 文教=文教厚生常任委員会
全=賛成全員 多=賛成多数 否=賛成少数 継=閉会中の継続審査
○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席
【継】=前定例会以前からの継続案件
※鈴木英吉議員は議長のため採決に加わっていません。

議案番号	件名	付託委員会	結果	議員										賛成	反対							
				岡野 耕平	田口 勝一	戸村喜一郎	原 清一	高橋 益枝	猪狩 一郎	栗原 恒治	佐藤 繁夫	大川原きみ子	布川 好夫			江原 利勝	五十嵐博文	井上 康	高橋 祐子	窪田 優	櫻井 優好	鈴木 英吉
市長提出議案																						
議案第 1 号	契約の締結について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第 2 号	財産の取得について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

議案の内容

7 月臨時会

<p>議案 1</p> <p>市役所本庁舎耐震補強工事に係る事後審査型一般競争入札を行った結果、相手方などが決定したため、契約を締結しようとするもの</p>	<p>議案 2</p> <p>水槽付小型動力ポンプ付全自動積載車の更新整備に係る指名競争入札を行った結果、相手方などが決定したため、財産を取得しようとするもの</p>
---	--

9月定例会の議案と議決結果		付託委員会	結果	市民クラブ										公明党		とみの風		無党派		賛成	反対		
議案番号	件名			岡野	田口	戸村	原	高橋	猪狩	栗原	佐藤	大川	布川	江原	五十嵐	井上	高橋	窪田	櫻井			鈴木	柏崎
				耕平	勝一	喜一郎	清一	益枝	一郎	恒治	繁夫	原喜子	好夫	利勝	博文	康	祐子	優	優好			英吉	のり子
市長提出議案																							
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	—	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
同意第1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	—	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第1号	富里市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○			
議案第2号	富里市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○			
議案第3号	富里市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第4号	富里市就学指導委員会条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第5号	富里市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第6号	契約の締結について	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			
議案第7号	千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第8号	平成25年度富里市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第9号	平成26年度富里市一般会計補正予算（第3号）	総務 文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第10号	平成26年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第11号	平成26年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第12号	平成26年度富里市介護保険特別会計補正予算（第2号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第13号	平成26年度富里市公共用地取得事業特別会計補正予算（第1号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第14号	訴訟上の和解について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定第1号	平成25年度富里市各会計歳入歳出決算の認定について	決算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○			
委員会提出議案																							
委員会提出議案第1号	国における平成27（2015）年度教育予算拡充に関する意見書	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
委員会提出議案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○			
委員会提出議案第3号	手話言語法制定を求める意見書	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
請願																							
請願第12号	「国における平成27（2015）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
請願第13号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○			
請願第14号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

議案の内容

9月定例会

承認1	平成25年度の台風被害により、災害復旧工事を実施している根本名浅間台地区について、平成26年6月に発生した豪雨により、隣接する法面が崩落したため、緊急に対応する必要性が生じたため、一般会計補正予算を専決処分したことの承認を求めるもの	議案9	歳入歳出それぞれ5億2,635万3千円を追加し、総額を163億5,366万5千円とするもの
同意1	教育委員会委員の佐々木浩二氏が任期満了となるため、再度同氏を任命するに当たり、議会の同意を求めるもの	議案10	歳入歳出それぞれ2億9,952万7千円を追加し、総額を64億2,761万9千円とするもの
議案1～3	子ども・子育て支援法及び関連法の施行に伴い、各事業の設備及び運営に関する基準を定めるもの	議案11	歳入歳出それぞれ1,981万4千円を追加し、総額を8億4,583万9千円とするもの
議案4	就学指導委員会の機能を拡充し、早期からの教育支援のみならず、就学後の支援について一貫性を持って行うため、所要の改正を行うもの	議案12	歳入歳出それぞれ1億3,144万3千円を追加し、総額を24億9,342万6千円とするもの
議案5	（仮称）富里市学校給食センター施設統合改築工事に伴い、新しい学校給食センターの名称及び位置のほか、所要の改正を行うもの	議案13	歳入歳出それぞれ869万4千円を追加し、総額を908万円とするもの
議案6	新保健センター等建設工事の事後審査型一般競争入札を行った結果、相手方などが決定したため、契約を締結しようとするもの	議案14	借上げ住宅の明け渡し等請求事件に関し、相手方と訴訟上の和解をすることについて、議会の議決を求めるもの
議案7	千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約の一部を改正する規約を制定することについて、関係地方公共団体と協議するに当たり、議会の議決を求めるもの	認定1	平成25年度一般会計及び国民健康保険特別会計など5特別会計並びに水道事業会計の歳入歳出決算について、議会の認定を求めるもの
議案8	平成25年度富里市水道事業会計未処分利益剰余金を減債積立金に積み立てることについて、議会の議決を求めるもの	委員会提出1	必要な教育予算を確保することを国に強く要望する意見書を提出するもの
		委員会提出2	義務教育費国庫負担制度を堅持するよう国に強く求める意見書を提出するもの
		委員会提出3	手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学べ、さらには言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国に求める意見書を提出するもの

意見書を提出

◆国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書
（提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

◆手話言語法制定を求める意見書

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

（提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

平成 25 年度富里市各会計歳入歳出決算審査報告

委員長 大川原きみ子

決算審査特別委員会に付託されました、平成 25 年度富里市各会計歳入歳出決算について、委員会審査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

平成 25 年度の一般会計及び国民健康保険特別会計などの特別会計の決算総額は、歳入が 248 億 5,223 万 2,004 円、歳出は 235 億 1,446 万 5,789 円となっており、実質収支は 13 億 217 万 2,102 円の黒字、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、5 億 1,190 万 1,077 円の黒字となっている。

次に、地方公共団体の財政状況の分析に用いる、普通会計における財務分析の数値で前年度と比較すると、財政力指数については 0.76 で、前年度と同ポイントであり、経常収支比率については 89.6%と前年度と比較して 2.9 ポイント減少したが、依然として財政構造の硬直化の傾向が見られる。

また、実質公債費比率は 3.6%で 0.8 ポイント減少しているものの、地方債現在高は 140 億 7,531 万 5,000 円で、前年度と比較すると 6 億 504 万 4,000 円の増加となっている。

一般会計の歳入の根幹をなす市税の徴収率は 83.45%で、前年度と比較すると 0.42 ポイント上昇し、市税収入済額は 1 億 6,060 万 96 円の増加となっている。

水道事業会計決算における、経営状況は、水道事業収益が前年度と比較して 4.75%増加し、水道事業費用も 2.35%増加したが、当年度純利益は、前年度と比較し 24.21%増加の、1 億 3,341 万 6,279 円となった。

このような状況を踏まえた上で、本決算審査特別委員会は、9 月 16 日から 19 日までの 4 日間にわたり、3 階第 3 会議室において、市長、副市長、教育長及び関係部課長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

審査の過程においては、活発な議論を経て、適正で効率的な予算の執行について当局の見解をいただきました。

審査の結果、監査委員の意見書のとおり、各会計とも計数については誤りのないものと認められました。

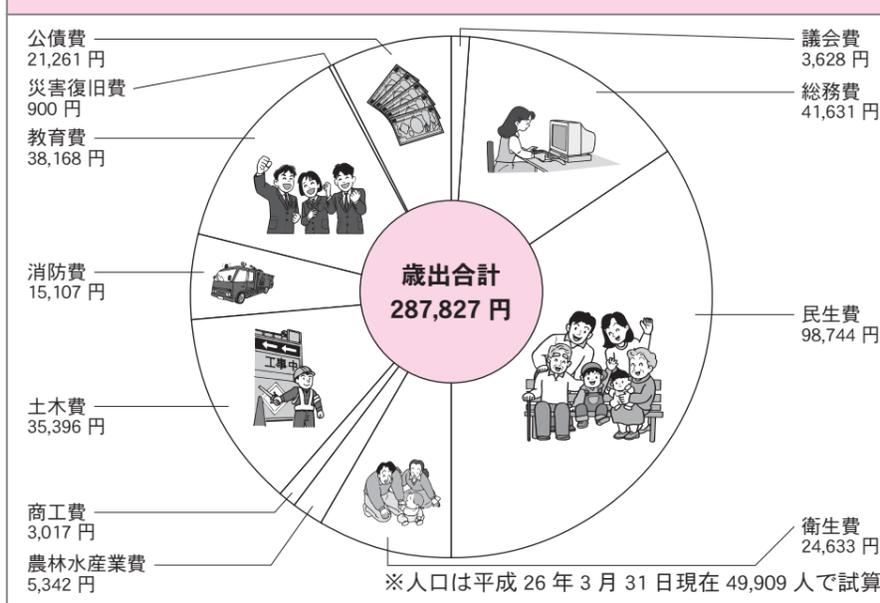
今後の予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を上げるよう」より一層の検討を加え、これまで以上に効果的・効率的な市政運営に努め、市民の期待にこたえるための予算執行となるよう、特に次の事項について適切な措置を期待し、報告といたします。

- 1 ふるさと応援寄附金について、さらなる啓発により寄附金募集に努めること。
- 2 さとバス・デマンド交通について、アンケートの要望を十分取り入れルートの改善を図ること。
- 3 消防職員の年齢構成に配慮し、計画的に職員を採用すること。
- 4 住宅用火災報知器の設置について、ひとり暮らしの高齢者宅等に配慮した啓発をするなど、設置率の向上に努めること。
- 5 学校給食センター運営委員会において、給食残渣の削減について協議することを検討されたい。
- 6 中央公民館の登録団体以外の一般利用について、認知度を上げて利用者増に努めること。
- 7 小・中学校施設の維持管理工事について、優先度を見きわめて計画的に事業実施すること。
- 8 国保税収納率の向上のため、納付回数をふやすなど納税しやすい環境整備を検討すること。
- 9 住宅手当緊急特別措置事業について、申請制度を積極的に周知すること。
- 10 献血事業について、事業所等に協力依頼するなど啓蒙活動を充実すること。
- 11 日吉台駐輪場の盗難防止策として、盗難防止バーや監視カメラの設置を検討すること。
- 12 協働のまちづくり推進事業について、推進委員会の意見を十分活用し、事業に反映させること。
- 13 住民基本台帳システムについて、人口動態の分析等に活用できるよう汎用ソフト導入等の検討をすること。
- 14 環境基本計画の評価について、今後市民にわかりやすく表示する工夫をすること。
- 15 ふるさと産品育成事業として推奨している 11 品目について、広く市民に周知すること。
- 16 公園管理について、今後も積極的に管理協定の締結団体がふえるよう努めること。

以上のとおり要望を付し、認定第 1 号平成 25 年度富里市各会計歳入歳出決算の認定については、採決の結果、賛成多数にて、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会を設置
 委員長 大川原きみ子
 委員 五十嵐博文、井上康、岡野耕平、戸村喜一郎、布川好夫、原清一、窪田優、柏崎のり子
 副委員長 田口勝一

平成 25 年度一般会計歳出決算 市民一人当たりに使われたお金



議員研修

平成 26 年度富里市議会議員研修会

期日：平成 26 年 9 月 24 日
 講師：福井県若狭町地域包括支援センター 高島久美子氏
 内容：若狭町における認知症対応システム

文教厚生常任委員会視察

期日：平成 26 年 10 月 1 日から 3 日までの 3 日間
 視察地及び視察事項

- (1) 佐賀県武雄市 教育改革：ICT 利活用教育の推進・「官民一体型」小学校の創設について
- (2) 佐賀県武雄市 図書館の指定管理者導入について
- (3) 愛知県北名古屋市 回想法事業について

総務建設常任委員会視察

期日：平成 26 年 10 月 8 日から 10 日までの 3 日間
 視察地及び視察事項：

- (1) 大阪府泉佐野市 行財政改革について
- (2) 奈良県生駒市 遊休農地活用事業について
- (3) 大阪府茨木市 地域担当職員制度について
- (4) 大阪府池田市 世界に誇れる安全で安心なまちづくり条例について

千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会

期日：平成 26 年 10 月 23 日
 講師：松下啓一氏
 内容：つくろう議員提案の政策条例

議会改革特別委員会報告（抜粋）

本委員会は、平成 23 年 6 月定例会において、議会のあり方全般について改善・改革の具体的項目に関する調査研究を行うことを目的に、議員 12 名で構成する特別委員会として設置され、平成 26 年 6 月 18 日開催の第 14 回委員会まで、議会のいっそうの活性化と、より市民に開かれた議会となるべく、調査研究して参りました。

以下、委員会の調査研究の経過についてご報告いたします。

まず、平成 23 年 9 月 26 日開催の第 2 回委員会において、改革に関するさまざまな事項について意見を交わし、中でも議会基本条例について、本委員会の主たる議題として、継続して調査研究していくことを確認いたしました。また、ここで提唱された議会のインターネット配信については、後に議会運営委員会での議論を経て実現されることとなりました。

次に、平成 24 年 3 月 8 日開催の第 4 回委員会においては、一般質問について議題とし、より活発な質問が行われるための運営等のあり方について意見を交わしました。また、ここで総意となった事項について、後日、議長とともに執行部へ申し入れを行いました。

次に、同年 11 月 19 日には、議会基本条例の先進地視察として、佐倉市議会において、条例制定の経緯及び条文解説について視察を行い、理解をより深めました。

続く、平成 25 年 1 月 21 日開催の第 8 回委員会においては、それまでも継続して意見を交わしてきた当初予算の審査方法について、意見を集約し、より能率的で活発な運営となるよう働きかけました。

次に、同年 6 月 17 日開催の第 10 回委員会においては、本会議における議案審議を、より深いものとするための場を設けることについて、意見を交わし、続く、同年 9 月 26 日開催の第 11 回委員会において、議会全体で予定議案の事前説明を受けることを確認し、申し入れを行いました。

次に、同年 12 月 18 日開催の第 12 回委員会からは、決算の審査方法についても意見を交わし、より活発な審査を行うための方向性について議論してきました。

これら、さまざまな改革を進め、一定の成果を上げてきた一方で、設置当初から主題としてきた議会基本条例については、各委員が意見をぶつけ合い議論を進めてきたものの、未だ一つの方向性に集約するには至りませんでした。そのような中、平成 26 年 6 月 18 日開催の、第 14 回委員会において、議会基本条例の今任期中での制定については、見送るべきとの総意が確認されることとなりました。

主たる議題が終了し、本委員会が果たしてきた役割にも、一つの区切りをつけるべき時がきたことから、本報告に至ったものです。

しかしながら、これまでの本委員会の活動は、着実に議会を活性化してきたとともに、議会全体の意識改革という大きな成果につながったものと感じております。

議会の改革は、これをもって終結するものではなく、議会に改革の意思がある限り、然るべき場で絶えず継承されていくものであると確信することから、本日、本議会において報告を行い、本調査研究を終了することといたしました。

以上、報告を終わります。

(委員長 佐藤繁夫)

常任委員会の 審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案六件について、慎重に審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第九号、平成26年度富里市一般会計補正予算(第三号)について、農業用水路整備事業について、宮内地区の湛水被害軽減のため、暫定的に調整池を整備することだが、当該箇所を優先した理由は、この質疑があり、地形や地元からの要望を踏まえ、県や地元排水組合と協議した結果との説明でした。また、暫定的に整備した後、県の事業と重なり無駄にならないか、この質疑があり、今回整備した箇所が今後、県で整備する調整池の種地となる計画であるとの説明でした。

議案第一三三号、平成26年度富里市公共用地取得事業特別会計補正予算(第一号)について、日吉倉桜小路地区の整地工事に関し、用地内の高低差緩和のための整地工事を行う理由は、この質疑があり、関係課と協議を行った結果、現状のままでは道路側が非常に高い位置にあり、各設計を行うに当たり、効率が悪いいため、粗造成を行うとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

(委員長 佐藤 繁夫)

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案九件と請願三件について、慎重に審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第一号、富里市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について、幼保一元化の中で、教育施設と児童福祉施設とに別

れている施設や、補助金の規則など、所管の違う部分を今後どのような形で整理し、条例を運用するか、この質疑があり、本条例制定後、利用認定など、子育て支援課に窓口を一元化する。諸問題は、順次、教育委員会と協議を進めている段階で、公立幼稚園三園のうち、向台幼稚園については、認定こども園化するという事務作業を進めているとの説明でした。

議案第六号、契約の締結については、新保健センター等建設工事の工事請負契約のことだが、市役所本庁舎の隣接地が現場となることから、技術面のほか、安全面でも十分な対策が必要と思われるが、この質疑があり、敷地内はもとより、県道等からの入口部分についても案内板等を設けたいと考えているとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。また全ての請願は、採択しました。

(委員長 大川原 きみ子)

一般質問

質の
は身よ
本者橋
※問原
も

通告項目

布川好夫

- (1) 地域防災計画について
- (2) 防犯対策について
- (3) 市税等納付(徴収)について

五十嵐博文

- (1) 地方公営企業について
- (2) 過去の一般質問について

田口勝一

- (1) 子育て支援策、待機児童解消策について
- (2) クリーンセンターの今後について
- (3) 南七栄南西地区市有地の利用方法について

大川原きみ子

- (1) 子育て支援について
- (2) 高齢者福祉について
- (3) 動物愛護について

高橋祐子

- (1) 庁用車について
- (2) 産業の活性化について
- (3) 災害対策について

高橋益枝

- (1) (仮称)空き家等適正管理条例について
- (2) 青年等就業計画について
- (3) いじめについて
- (4) DREAM21夢の課外授業について

井上 康

- (1) 公共施設(建物)の維持・管理・更新について
- (2) 財政状況を市民へわかりやすく公開することについて
- (3) 市職員の退職金の管理運用について
- (4) コンピューター・システムの維持・管理・更新の適正運用に関して
- (5) 安全安心なまちづくりへ向けた、防犯に関する条例の策定について
- (6) 富里市の地域包括ケアシステムについて
- (7) 児童通学路、危険箇所点検後の進捗について
- (8) 教育相談員の体制充実について
- (9) 自然環境に維持保全について

猪狩 一郎

- (1) 地震対策について
- (2) 大雨対策について
- (3) 成田富里徳洲会病院の進捗状況について
- (4) 道路の延伸について
- (5) 文化活動について
- (6) 商工業の振興について
- (7) コミュニティづくりについて

柏崎のり子

- (1) がん対策について
- (2) 人事評価及び職員採用について
- (3) 公契約条例について
- (4) 学校運動場の安全対策について

窪田 優

- (1) 空き家の適正管理について
- (2) 高齢者の居場所と役割について
- (3) 市立学校のクローラー設置について

布川好夫

問 児童、生徒へ防犯ブザーの貸与について



答 安全を第一に考え、検討いたします

『地域防災計画について』

緊急避難場所と避難所の指定について。改正された災害対策基本法に、切迫した災害の危険から逃れるための緊急避難場所と、避難者の生活環境を確保するための避難所が明確に区別されました。現在、指定避難所は一カ所ありますが、緊急避難場所については指定しておりません、指定に向け検討します。

福祉避難所の指定について。

新保健センターを福祉避難所として指定する予定です。民間の社会福祉施設なども災害時協力協定の締結に努め、指定に向け努力します。

地域防災計画の修正内容を反映させた防災マップ等の作成を進めます。

緊急避難場所や避難所をヤブ・地図やグーグル地図に災害情報も含め活用されるかが重要です。また、国際化が進む中、避難情報や防災マップ等についての多言語支援、英語、中国語、韓国語等についての考えはありますか。

答 検討します。

『防犯対策について』
移動交番の活用について。
市内の集会所などに移動交番を開設し、周辺の警戒に従事するほか、巡回パトロールなどを行い、犯罪抑止活動を実施しています。

『大型ショッピングセンターや銀行、空き家の多い地域や病院等、積極的に活用すべきと考えますが。』
答 新たな開設場所として検討します。

五十嵐博文

問 現行の水道料金で安定的な水道事業を



答 安定的な事業運営に努力します

投資効果が上がらない区域の拡張はさらなる負担。困難な区域を給水区域と定め期待を持たせることがよいか。現実的な手法に切りかえることで、平等な市民サービスにより安全な水源の確保となる。今後の水道事業は、拡張から更新にシフトすることで、市民サービス・採算性等のバランス確保につながるが。

水道事業のみでは過大だと思います。関係部局と連携を図っていきます。

『旧岩崎家末廣別邸及び道の駅について』
道の駅については、研究会の中で調査研究をしているが、国土交通省が「道の駅による地方創生拠点の形成」を公表。既に関の動きも変わってきている。研究会による調査研究を先行的に進め、判断材料を生んでいただく。そして次の段階で議論ができる。そこまでの調査を一日も早く仕上げたい。

『自主管理集中浄化槽の小規模下水道について』
公共下水道としての整備は困難。かわる手法として小規模下水道を提言したが、今後とも検討します。住民負担が少なくなるよう考えています。

『市道一〇一四二号線ほか(国道四〇九号から日吉台に通じる調整区域側)について』
規定に適合した道路と言えるか。
答 構造令を見ると十分でないと思います。交通量は増加。危機感を持った答弁を。答 来年度の予算に反映できればと思います。

田口 勝一

問 子育て支援策、待機児童解消策について



答 認定こども園を普及促進し解消を目指します

問 子育て支援に関するニーズ調査結果は、認定こども園への期待や、待機児童の解消、子育て支援センター事業の充実が求められています。

答 子ども・子育て支援新制度に向けて、どのような施策を行っていくのか。

問 認定こども園の普及促進、一時預かり事業の推進、地域子育て支援センターの機能強化等に取り組んでまいります。

答 平成24年6月議会で提案した、葉山保育園と向台幼稚園の認定こども園化の可能性について、どう考えているか。

答 私立幼稚園の事業運営とのバランスを考えながら検討してまいります。

問 給食センター第一調理場跡地の利用により、葉山保育園の駐車場問題も解決すべきだと思いが、どう考えているか。

答 葉山都市公園と調理場跡地利用を再編し、葉山保育園駐車場を確保します。

『クリーンセンターの今後について』

問 クリーンセンターをリサイクルセンターとして利用していく考えはないか。

答 現段階においてリサイクルセンターとして利用していく考えはありません。近隣住民の意向や、市全体のバランスを考えた活用方法を検討してまいります。

『南七栄南西地区市有地について』

問 民間企業による土地利用の検討は、環境施設を除く土地利用については、詳細な検討はしてありませんが、成田空港周辺地域という地域特性を生かしていく上では、民間主導による土地利用も有効な選択肢であると考えております。

大川原きみ子

問 保育の新たな施設整備について



答 向台幼稚園の認定こども園化を検討しています

問 市は待機児童解消に向け葉山保育園・向台幼稚園の認定こども園化により一〇名の保育定員の拡充を予定しているとの伺いました。整備計画はどのように進めるかお伺いします。

答 比較的地に余裕のある向台幼稚園を認定こども園にすることで約八〇名の保育定員の拡充を予定しています。なお、葉山保育園については今後順次整備してまいります。

問 質の高い教育・保育の提供に向けた認定こども園化に伴う向台幼稚園の施設整備について。

答 アレルギーを持つお子さんもいることから、給食を提供できるように、園内への調理室の設置が必要と考えています。また、保育士の確保も必要となっております。

問 子育て支援センター拡充とこども館について。

答 葉山保育園拡充とあわせて検討してまいります。

『動物愛護施設分ゼロに向けて』

問 犬・猫の殺処分ゼロに向けてマイクログリッドの埋め込みに対する助成制度を。現在、避妊・去勢を含めて、県の団体の助成制度で対応しています。



認定こども園化予定の向台幼稚園

高橋祐子

問 全庁用車にドライブレコーダーの導入を



答 検討してまいります

問 市長車と議長車のみ装着の理由は、平成22年に起きた議長車の事故処理のために必要であると判断したからです。

答 事故を教訓として導入したのなら、全庁の庁用車に装着すべき。事故発生時の記録のみならず、安全運転意識の向上、さらに走る防犯カメラとしての機能も兼ね備えた費用対効果の高いツールでは。

問 電気・水素自動車の導入について

答 これらはCO₂や燃料費削減の効果が非常に高い。災害時には非常用電源として使用が可能、さらに機動性まで兼ね備えている。災害対策の点からも導入を。

『産業の活性化について』

問 第一・第二工業団地ともほぼ一〇〇%の立地率、一刻も早く第三工業団地の検討を始めるべきだが、市長の考えは。

答 必要とは思っているが、今はやることはいっぱいあり、職員も減らされているので非常に難しいと考えています。

問 農水省は空港近くに国際青果市場を検討している。立地に加え、いまだ単協のJA富里市であればこそ市内農家と一丸となって取り組むことができる。市場の誘致は富里市にこそふさわしい案件では。

答 成田市にできて富里が利用する形と考えると。

『本庁舎の電気の契約について』

問 業務用の五〇kW以上は自由化部門。東電だけを前提とした契約を改善し、新電力を含めた競争入札とすべきでは。

答 経費節約に向けその方向で考えます。

高橋益枝

問 青年等就農計画での市の基本構想について



答 本年9月末日までに改正終了の予定です

問 青年等就農計画制度について

答 従来、県が認定主体となっていた就農計画について、地域農業の担い手を育成するため、就農段階から農業経営の改善・発展段階まで一貫した担い手育成支援が重要であることから、計画の認定主体が県から市に移管されたものです。

問 国は平成25年12月10日に閣議決定した「農林水産業・地域の活力創造プラン」を踏まえ、新規就農者の育成・定着対策や農地集積強化対策を拡充させるため、農業経営基盤強化法等の一部を改正する等の法律を平成26年4月1日に施行しました。今現在、新規就農者の人数は。

答 平成26年度は継続九人、新規が五人です。

問 市のほうで認定されるようになると、どのくらいスピードアップされるか。

答 書類上に不備がなければ、おおむね一カ月くらいで認定可能です。

問 特別融資制度について。

答 借入限度額三、七〇〇万円、償還期限12年以内、無利子です。

問 認定新規就農者が対象で、条件として一八才以上四五才未満。六五才未満で知識・技能を有する方などです。



(資料：市観光ポスター) 農業は市の基幹産業です

井上 康

問 市職員の退職金、負担割合の見直し、改善は



答 平成26年度、三億円超の減額が見込まれます

『財政状況を市民へわかりやすく公開することについて』

問 富里市の将来を見据え、どのようにお金がかかり、どのように優先順位をつけて使っていくべきか、市民に知っていただくために、市の財務状況をわかりやすく開示するように心がけるべき、と以前から提言してきたが、進捗はどうか。

答 市民にとってわかりやすい、実感が湧く表現を研究していきます。

『市職員の退職金の管理運用について』

問 市職員の退職金の管理運用について富里市の負担割合が多く不公平であり、負担割合の見直しが必要、と以前から提言してきたが、検討はされたか、進捗はどうか。

答 千葉県市町村総合事務組合退職金制度検討委員会で見直しが検討され、負担金条例が4月1日に施行されました。富里市の収支は二八億円余りで八億円余りの赤字ですから平成26年度では予算に対し三億五、〇〇〇万円余りの減額となる見込みです。

『安全安心なまちづくりへ向けた、防犯に関する条例の策定について』

問 安全安心なまちづくりへ向けた、防犯に関する条例の策定と具体的な推進計画の策定を提言してきたが、進捗はどうか。

答 防犯活動団体や市民等からの意見を参考にするため、検討懇話会を設置し、条例案を12月議会への上程を目指し進めています。自治会との関係、推進協議会の設置など、富里市の特徴を盛り込んで作成しています。

猪狩 一郎



問 予測される地震の市民への広報について

答 広報紙や防災訓練などで周知しています

問 地震による液状化対応について。

答 液状化の発生は、地質の性状と地下水位及び地震動の大きさと揺れの継続時間によって発生するものと思われ、専門家の知見によると、一度液状化し、密度が増加した地盤では、液状化に対する抵抗力が増すため、一般的には再液状化しにくくなると、考えられています。

しかし、ある程度縮まった地盤でも地震動が大きき、その揺れの継続時間が長ければ、液状化が発生することがあるとも考えられます。本市においても、今後液状化現象の発生が予想される地域に対して液状化に関する知識の普及・啓発について一層努めるよう、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

『避難所対策について』

問 女性、高齢者、乳幼児の対応策は。

答 避難所などで配慮が必要になりますので、授乳室等に使用できるスペースの確保や、紙おむつ、粉ミルク等の生活必需品を備蓄しております。

『成田富里徳洲会病院の進捗状況は』

問 当初予定通りの診療体制なのかどうか

答 現在、成田富里徳洲会病院開設準備室が設置され、ホームページにおいて平成27年9月の開設に向けて募集職種の内容や救急外来を含む予定する診療科目を内科、外科、小児科を初めとして全一八科目と公開されています。

また、開設準備室によりますと、これらの内容については基本の体制ですが、今後、医師等の人的確保状況により変更となる場合があると伺っております。

柏崎のり子



問 胃がん予防に効果。住民健診にピロリ菌検査を

答 新たな選択肢として認識し調査・検討します

問 胃がん患者の九八％、胃潰瘍患者の七〇％がピロリ菌感染者であることがわかりピロリ菌を除去することが予防に大きな効果があると聞きます。県のモデル事業で既に実施のところもあります。検診事業に導入を。

答 ピロリ菌検査については、血液検査で身体的に負担が少ない検査であり、有効な胃がん検査方法の新たな選択肢として認識しております。他市の取り組み状況を調査し検討してまいります。

問 治療は昨年からの保険適用になっており早期発見、早期治療は医療費削減につながります。本市の死亡原因の二位が胃がんであることから命と健康を守るために来年度実施に向け検討を。

答 調査しながら来年度予算に反映させてまいります。

『学校運動場の安全対策について』

問 富中グラウンドの暗渠整備について具体的にどう議論していますか。

答 平成24年度、土を入れ敷きならしを行い、25年度雨水流入を防ぐための工事を実施したが、暗渠整備に至っていません。

問 学校指針、保健衛生基準、教育上の必要に即し子供の発達保障等これまでだだしてきました。先送りをせず部活の安全対策を優先させながら整備計画を進めていくべきと考えます。

答 特定部分について土質状況等調査し今後計画してまいります。

問 富中陸上トラックの安全対策は。

答 ブロックの撤去やふたのかけかえ等を行ってまいります。

窪田 優



問 空き家の管理条例をつくる必要があります

答 三年以内にできると思っています

問 空き家の推移、周辺住民の苦情などについて市の対応を伺います。

答 無人化する空き家は平成24年度、四六〇件。市民からの相談や苦情は二〇件。ごみによる異臭、害虫、景観不良は二件ありました。現地確認と土地所有者を調査した上で通知などで適正に管理していただけるようお願いします。

問 何も対応しない所有者に対してどのような手段が考えられるのですか。

答 ごみ関係では所在不明者が多い中、八割、草木は六割。解決を見ています。

問 所有者の責任の自覚、地域住民の関心地域の環境維持のためにも空き家・空き地条例が必要だと思います。

答 条例の必要は感じていません。窓口のあり方、組織体制等、検討してまいります。

問 千葉市、流山市も作られたようです。成田市も平成27年度に策定とのことですが、富里市はいつできますか。

答 窓口が決まっています。条例の制定については引き続き調査してまいります。

問 条例制定は議会の仕事であることは承知しています。市の職員は削減されていく。負担も大変なことはわかりますが行政機構で職員の人員費が最大であること。考えたら「何のために市役所があるのか」箱物をつくれれば市民が満足する時代ではありません。市民生活の直結する政策の見える化、実効性のある条例の制定が求められます。市長のリーダーシップを発揮することが求められます。

答 三年以内に行けると思っています。

請願（陳情）について

皆さんの希望や意見を、直接市政に反映させるための手段として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

○請願・陳情とは
紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情と呼びます。
請願は、期限までに受理したものは、原則議題とし、所管の委員会に付託します。
陳情は、提出者が市在住の方で、議会事務局へ持参により提出された

ものは、請願と同様の扱いとなりますが、市で処理できる権限がない陳情など扱いが変わるものもあります。

○提出方法について
請願（陳情）書は、書面でのみ受け付けます。それぞれ、議会事務局までご持参されるか、郵送により提出してください。
なお、12月定例会で審議される請願（陳情）書の提出期限は、**平成26年11月20日（木）午後5時**です。
詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

12月定例会は11月28日（金）から開会予定です。
※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビや日吉台出張所のモニター、インターネット（ライブ・録画）でもご覧いただくことができます。
※本会議の録画映像は、当該本会議の会議録が作成されるまでの間（おおむね2カ月）、市議会ホームページに掲載しています。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。
〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局
TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595
富里市議会ホームページアドレス
<http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html>

編集後記

爽やかな風が吹き抜ける、過ごしやす季節になりました。この時期富里の畑地帯では、緑一面のニンジン畑が広がっています。

「心が洗われる」東京から成育状況を確認に来た食品会社の方が、広大なニンジン畑の緑を見て発した言葉ですが、このすばらしい景観を次世代に残したいものだと思っています。

8月には給食センターが完成し、9月から児童生徒への給食が開始されました。食器も新しく改良され、安心・安全な給食の提供が期待されます。

今後も市役所本庁舎の耐震工事とエレベーターの設置工事、新保健センター建設と、大きな工事が予定されています。

9月議会では、子育て支援関連の条例三件と、総額で約一四億二五〇万円の新保健センター建設工事請負契約の締結などが審議されました。

また決算審査特別委員会が設置され、平成25年度決算について審査が行われました。

編集委員一同、市民の皆様にはわかりやすい議会報を目指して取り組んでまいりました。御愛読していただきまして皆様に感謝いたします。

（委員 田口 勝一記）